



の通信

宮崎県総合博物館
発行日/平成15年10月15日

発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
http://www.pref.miyazaki.jp/museum/ E-mail:kyhakubu@pref.miyazaki.jp FAX(0985)24-2199

特別展

神 秘 の 王 朝

マヤ文明展

MAYA: Kingdoms of Mystery

—マヤ文字が解いた古代の謎—

平成15年9月20日(土)~11月3日(月・祝)
(休館日 9/22、9/24、9/29、10/6、10/14、10/20、10/27)

謎だらけだったマヤ文明。マヤ文字の解読によって全貌が今、明らかになりつつあります。
世界遺産コパン遺跡の遺物をはじめ、マヤの不思議に科学的なメスが入られました！



開催中の展覧会の様子

中米グアテマラやホンデュラスの熱帯雨林に眠る古代マヤ遺跡をつくった人々—彼らが残したマヤ文字があまりにも独特で解読が困難であったため、古代マヤは長い間、謎の文明とされてきました。しかし、そのマヤ文字も現在では約8割が解読され、考古学者たちは、マヤの歴史、社会、そして文明全体の特徴を見直し、従来のマヤとはまったくちがう、マヤ文明を発見したのです。

美しく奇怪なマヤ文字が刻まれた石碑、日本画を思わせる繊細なタッチで絵付けされた彩色土器、往時の宗教儀礼をしのばせるモザイク石彫など、約300点にのぼる出展物の多くが世界初公開の品々です。

展覧会は、「よみがえるマヤ王朝 (The Rediscovery of Maya Dynasties)」
「コパン王朝興亡史 (The Rise and Fall of the Copan Dynasty)」の2部で構成され、マヤ王朝の貴族の生活や芸術、コパン王朝の絶頂期から衰退期にかけての様子を紹介し、みなさんを新しいマヤ文明へご案内します。

- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料 一般1,200(1,000)円 高大生800(600)円 小中生500(300)円
*()内は20名以上の団体
- 主催 宮崎県総合博物館、MR T宮崎放送、宮崎日日新聞社
- 特別協力 通信・放送機構 ■協力 凸版印刷株式会社
- 協賛 ファミリーマート、第一生命宮崎支社
- 後援 総務省、外務省、文部科学省、グアテマラ共和国、
ホンデュラス共和国、グアテマラ・マヤ文化協会ほか



関連イベント"VR (バーチャルリアリティ) シアター"

マヤ考古学の研究成果とバーチャルリアリティを組み合わせた「仮想考古学」により、802年のコパン遺跡の中心部を復元しました。マヤの考古学者に扮したナビゲーターが、バーチャルの世界でみなさんを遺跡ツアーにお連れします。

- ◆実施日 毎週土曜日・日曜日、祝日
- ◆実施時間・回数 午前10時から40分ごとに10回実施
- ◆上映時間 約15分 ◆定員 約80名
- ◆会場 博物館2階 研修室1

*実施日に観覧券を確認のうえ整理券を発行します。整理券がないと入場できません。*機材の状態などにより放映できない場合があります。

利用者の声

戦争中に配られた”防空壕の作り方”

博物館の歴史展示室で、「こういう資料を探していたんですよ」と沖縄県から来られたお客様が言われました。その方は、全国の防空壕の形や作り方を調べられているそうです。

資料の名前は「防空待避所設置計画例図」といいます。昭和19年4月1日に「家庭防空待避所設置ニ関スル件」として、青木善祐宮崎市長から区会長・隣保班長・市民各位宛に出されました。全国で空襲が相次ぎ、緊迫化した情勢の中で、市民に自分の身を守らせるために出したのです。

よく見ると、屋外の「一列坐式」「二列坐式」「地下一列坐

式」、屋内床下の「地下坐式（五名入）」という4種類の防空壕の図が描かれています。お客様は「具体的に絵が描かれている資料で、わかりやすいですね。」とされていました。みなさんも歴史展示室のこの資料を見て、戦争中の生活を考えてみませんか？



(表)



(裏) ＊歴史展示室では裏面を展示しています。

博物館講座

「酒谷川の川漁と生きもの」

この講座は、5月24日(日)、日南市内のパルプ工場の北側を流れる酒谷川で実施しました。参加者の皆さんには、地元で漁を行っている那須義春氏の指導のもとに、漁の仕掛け作りから体験してもらいました。その後、網に魚がかかるまでの時間を使ってウケやウナギ



ポッポ等の伝統的な漁労具で魚を捕ったり、水生昆虫や鳥の観察等を行いました。昼食後、朝に仕掛けた網を引き上げまし

た。網にかかったノボリコ(ハゼの稚魚)に大きな歓声が聞かれました。

民俗と動物分野が共同して講座を実施したことで、参加者に自然の大切さとそれに生かされながら様々な工夫をしてきた人間の営みを感じてもらおう貴重な体験の場を提供することができたと思います。



常設展示室紹介

へー! こんなところがあるの?

大きなはさみのカニですね!! シオマネキといいます。宮崎県の海岸には、たくさんの「干潟」とよばれる、陸と海の境目の場所があります。干潟は満潮の時は、海や河口の底になっていますが、干潮になると砂地・泥地などの陸地になります。

干潟にすむカニや貝は、陸から海に流れこむ有機物をえさにします。それらは渡り鳥のえさとなります。また、カニや貝、鳥のフンは泥の中の小さな生きものたち(微生物)のえさとなります。こうして、海に流れこむ有機物は分解され、きれいになった水が海にもどされます。

干潟は多くの命をささえるとともに、きれいな海を守り続けているのです。重要な役割をしている干潟について、このコーナーでたくさんのことを学んでください。



収蔵資料紹介

-地質部門-

コレニアの群体 (中国産)

コレニアは、約20億年前ラン藻類などの藻が海中で石灰質の泥や砂を取り込んで成長し薄い層状構造をつくったものです。ストロマトライトもラン藻類の働きによってつくられたものです。これらラン藻類の光合成によって原始地球大気には酸素が増え、オゾン層が形成されて紫外線をさえぎり、生物が陸上で生活できるようになりました。



コレニアの群体

トリケラトプスの角 (アメリカ産)



トリケラトプスの角 (下図の赤い部分の化石です)

トリケラトプスは鳥盤目に属する草食恐竜です。トリケラトプスとは「3本の角がある顔」という意味です。トリケラトプスの仲間は他の恐竜よりも、体の大きさに比べ頭部が大きい特徴があります。襟飾りをもった頭には、立派な角がありました。全長は8~9mに達し、ティラノサウルスと同時期の白亜紀後期にカナダやアメリカで生息していました。



この2点の化石は常設展示室に、新たに触ることのできる資料として展示しました。

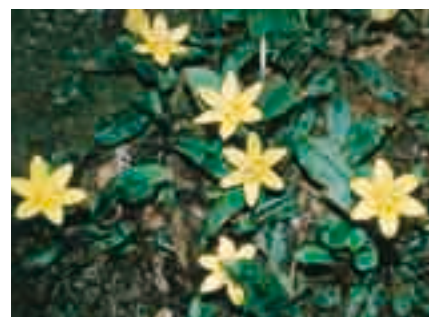
宮崎の自然情報

キバナノホトトギス (ゆり科)

宮崎県には、ホトトギスの仲間は6種類あります。そのうち3種類はピンク系のもので、残り3種類は黄色系です。ホトトギスの名前は、花びらについている横縞の模様が、鳥のホトトギスの胸の縞模様に似ていることに由来しています。

キバナノホトトギスは、名前のとおり黄色い花のホトトギスの意味です。宮崎市の木花にも生えていますが、この木花とは全く関係ありません。キバナノホトトギスは宮崎県の広い範囲に生えていますが、県外ではまだ見つかっていません。

生える場所は明るい照葉樹の林内です。草丈は栄養条件によってまちまちで、小さいものは10cm程度、大きいものは40cmくらいになり、葉の脇から直径4cmほどの黄色い花を数輪出します。写真のように淡い黄色で、とてもきれいです。花は、早いところでは9月中旬頃に咲き出し、10月20日頃まで見ることができます。尾鈴山周辺には、同じく本県唯一のキバナノツキヌキホトトギスがあります。





毎月第2・4土曜日に実施されるクイズラリーには、毎回たくさんの小中学生が参加してくれています。回を重ねるごとに問題は難しくなりますが、メダルや賞状をもらえるよう、みんながんばっています。もちろん難しい問題には、私たち展示解説員もヒントを出しながらお手伝いします。そんなクイズラリーの日にも常設展示室の中で一番人気なのは恐竜のコーナーです。トリケラトプスの角やディプロドクスの肋骨、その他恐

竜の卵やふんの化石などが新たに加わり、ますます人気を集めています。私たち展示解説員もさらに知識を深め、お客様に満足していただける解説ができるよう、日々勉強しています。

(展示解説員 黒木玲奈)

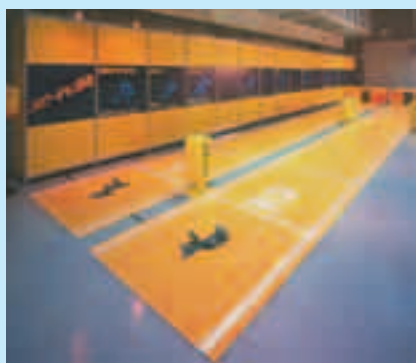


恐竜のふんの化石

特別展 「スポーツの科学」 ―知ろう！ さわろう！ ためしてみよう！―

オリンピックの感動的なシーンの数々、そしてわが国選手団の活躍ぶりは、多くの人々にスポーツのすばらしさを実感させます。また、連日テレビや新聞などでは、野球やサッカーだけでなくさまざまなスポーツが放送・報道され、スポーツの人気の高さを示しています。

本展覧会はスポーツを運動技能や体力などさまざまな角度から分析し、また、実際に体験できる展示物で楽しく体を動かして、来館者にスポーツとそこに潜む科学を身近に感じていただくために開催するものです。また、生涯スポーツへの関心を更に高める機会となれば幸いです。



体験コーナー<スピードに挑戦>

■期 間：平成16年2月28日～3月28日

■観覧料

区 分	個 人	団 体
大 人	300円	200円
高大生	200円	100円
小中生	100円	50円

(団体は20名以上)



体験コーナー<筋肉の仕組み>

「ネイチャーフォト展」作品募集

博物館友の会では「ネイチャーフォト展」を平成16年4月20日～6月13日に開催します。この展覧会は、県内在住の方が撮影された野生動植物の写真を、下記の要領で募集し展示するものです。自然の好きなあなた、すてきな作品をぜひ出品してください。

■応募資格：宮崎県在住で、自然を愛する人

■募集期間：平成16年3月1日～31日

■作品の体裁：四切又はA4以上の大きさで、額装又はパネル貼りして、即展示可能なもの

■出品点数：1人3点以内

※出品された作品はすべて展示し、優秀作品は表彰します。

詳しくは博物館友の会係(☎0985-24-2071)までお問い合わせください。



お知らせ

「みやざきデジタルミュージアム」インターネットで公開開始

みやざきデジタルミュージアムは、県内の文化や歴史に関する情報をデジタル化し、インターネットにより広く提供する目的で構築したものです。総合博物館、県立美術館、埋蔵文化財センター等の収蔵資料や文化財等の情報を公開しています。今後も資料の追加を行い、公開資料を増やしていく予定です。

皆様のアクセスをお持ちしています。

<http://www.pref.miyazaki.jp/kyouiku/bunka/d-museum/index.html>



みやざき文化フェスティバル

総合博物館、県立美術館、県立図書館、埋蔵文化財センター、県立芸術劇場の5つの施設が合同で、11月2・3日に「みやざき文化フェスティバル」を開催します。

本館では11月3日(月)にクイズラリーを実施します。その日は入館無料となりますので、ぜひお越しください。

臨時休館

展示資料の補修や機器点検のために下記の期間が臨時休館となります。

臨時休館日：平成15年12月16日(火)・17日(水)

